



動物産が大好きなので、おいてあげたいけど、大きな葉は光を大幅にうばう。

秋にはおいしい実になってくれる。

木に密着して居るためのナメキ等を使い、一本ずつ密着して居るナメキの切り、からまりをはずすには、ナメキの根を切らなければなりません。

木が小さいうちはかきつけて、光をさえきりますが、木が大きくなり成長した後は、各種伸くなく、むしろ花がきれいに幹をかざる。

つる植物とは、光を得るために他の植物に取りつく植物の総称です。



ナメキを持つ手と同じ側の足を前に出す。逆に出すと自分の足を切る。

正しい姿勢で安全に行います。



ここでも手を抜くと、すっかりひねくれた木に成長してしまいます。

数十年後、あのとき、あんなに元気な木は、もうありません。



夏の炎天下での作業は大変ですが、自分で出した武器で木を助け出した後は、ちゃんとロー気分。



また、ツルアジサイによるかきつけにも注意が必要です。

赤い葉(葉柄)に3枚の葉は、要注意!



持たず、危険な切る場所を危険な場所と見做す。



リン子の仕事は木のレスキュー隊です。

待てろよっ

夏——！

夏、林業作業 下刈りとつる切り。



毎年夏に下刈り作業を行います。



枯れかき取り



苗木は通常50位のサイズで山に植付けられます。

大きくなれよー



巻つき被書 直接木を締め上げて、劣幹や食い込みといった形質不良木に!

樹冠覆い被害 樹冠を覆ってしまい木の成長を阻害。

つる植物生育型 4タイプ

巻きつき型 主軸みすからぐるぐる巻きつく。

巻きヒカ型 主軸から巻きヒカを出しからみつく。

よじのぼり型 主軸から吸盤や付着根を出しよじ登る。

よりかかり型